

平成 27 年度第 2 回十日町市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成 28 年 3 月 11 日(金) 午前 10 時 30 分～

2. 会 場 十日町市保健センター 2 階 集団検診室

3. 出席者 市長 関口 芳史  
教育長 蔵品 泰治  
教育委員 山口 由美子  
教育委員 吉楽 隆一  
教育委員 庭野 三省  
教育委員 佐藤 美佐子

説明のために出席する者

教育次長	富井 敏	教育総務課長	高橋 義孝
学校教育課長	島田 敏夫	指導管理主事	川崎 正男
生涯学習課長	大島 満	文化財課長	佐野 誠市
スポーツ振興課長	井川 純宏	教育総務課長補佐	長谷川 芳子

事務局

総務部長	中村 亨	企画政策課長	渡辺 健一
企画政策課参事	渡辺 正彦	企画政策課主任	星名 学

4. 議 題 (1) 十日町市教育大綱の策定について

5. 意見交換 (1) 十日町市の英語教育について

(2) その他

【会議資料】

(資料 1) 十日町市の英語教育の充実に向けた構想 (案)

(資料 2) 品川区日野学園の英語教育

(資料 3) 総社市の英語教育

中村総務部長（開会）

関口市長（あいさつ）

お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は「十日町市教育大綱」の策定という大きな議題であります。昨年の第1回総合教育会議におきまして、十日町市教育大綱については、当時策定中であった第二次総合計画の教育分野で掲げる政策・施策を基本とすることを確認させていただいております。

第二次総合計画であります。作業を進める中で、昨年12月に総合計画「基本構想」の議会議決をいただいております。その「前期基本計画」が2月に確定いたしましたことから、それを基にした当市の大綱案について、皆様と協議をさせていただきたいところであります。

それともう一つ意見交換としまして、これは私の提案であります。「十日町市の英語教育」について皆様からご意見をいただきたいと思います。私も英語教育については、興味・関心を持っている大きなテーマであります。国際化が進展していく中で、能力を高めることは大変重要なことだと思いますし、そういった問題意識がありながらも、具体的に着手できなかった、そして成果があがっていなかった課題の一つだと認識しております。その中で、事務局も資料を用意しておりますので、それを基に幅広くご意見いただきたいと思います。

そして、これまで教育委員会を中心に、小中一貫教育の推進や寺子屋塾など、様々な事業を行っていただけてきたところですが、子どもたちが自分の将来をしっかりと見つめて決めていけるために必要な取り組みについて、この総合教育会議という場で皆様と確認しながら、十日町市としても効果的に進んでまいりたいと考えています。

教育委員の皆様とは、今後とも同じ認識のもとに一致協力していく中で、市として教育行政に当たってまいりたいので、よろしくお願いを申し上げます。

中村総務部長

ありがとうございました。本会議の運営にあつては、市長が「総合教育会議」を招集することとされておりますことから、以降の進行につきまして、関口市長から、進行をお願いしたいと思います。

関口市長

それでは今ほどの教育大綱（案）につきまして説明があります。事務局は説明をお願いします。（渡辺企画政策課長が、議題（1）について一括説明する。以下省略）

教育大綱（案）について、説明があったことにつきまして、何かご質問、ご意見など、ございましたらどうぞ。

山口委員

「5.基本施策」(1)学校教育の充実の中に、“いじめ根絶を目指す”というような文言を入れるのはいかがでしょうか。

関口市長

これはどのように理解すればいいですか。“小中一貫教育”の中に含まれているというこ

とでいいですか。

島田学校教育課長

基本的には「小中一貫教育の推進」の中に含まれているものだと考えております。学力の向上、不登校の減少、特別支援教育の充実等が、小中一貫教育の中に含まれるものだと考えております。その中の一つに、いじめ問題の解消も入っているということです。

関口市長

ちなみに総合計画の策定時はどうだったでしょうか。具体的によろしいでしょうか。

富井教育次長

今ほど課長が説明したようにそれぞれの取り組みというのがその中にいじめの記述を取り組みとして取り上げておりますので、具体的な記述はありません。ただ、現実の課題としてはいじめという言葉も出てきておりますし、今回の参考の中でも「はじめに」のところで教育においては学力の向上といじめの減少ということで、内在しているということでご理解いただけたらと思います。

関口市長

骨組み、そういった意味ではさっぱりしているんですが、十日町らしさというのは、この「はじめに」の部分で総合計画とリンクしているということで、ぜひご理解いただきたいと思います。また、いじめのことをというお話がありましたが、そのことは特別支援教育の充実の代わりに「はじめに」のところで含めて議論させていただいているということでございます。よろしいでしょうか。どうぞ

庭野委員

学力向上、いじめ、不登校などの課題を取り組んできたような印象で、学力向上に関してはここ数年推進してきていますが、一向に改善されていないのは不登校です。もっと不登校に光をさしたものが必要ではないでしょうか。不登校の日数のカウントの仕方については、県は30日以上で統計をとっていますが、50日、100日前後ともっと不登校のデータを集計することが良いのではないのでしょうか。ただ純粹に30日以上の多い少ないでは良くないのではないのでしょうか、ほとんど学校を拒否している子どももいます。それがどのくらいいて、そして30日前後の子どもがどのくらいいて、そういうデータに基づいてどういう風に指導していけばいいのか、そこまでいかないとなかなかこの問題は解決しないと思います。家庭に対して支援が必要なのか、もっと前向きに学校で相談してとか、そこまで考えていかないと人数の多い少ないではダメではないかと、そういう印象をもっています。現時点では30日ですか。

島田学校教育課長

人数は現時点では30日以上です。それ以外もカウントしておりますので、委員のみなさんからお話しがあったようなことはできますので、そういうことも検討したいと思います。

吉楽委員

庭野委員さんからの話し、そのとおりだと思いますが、今回28年度から32年度までの教育大綱を見させていただいて、できるだけ小学生、中学生あるいは高校生のみなさんへ夢を少し感じてもらえる教育大綱であってほしいと思っております。それが、具体的にになっていくときに、基本方針に書いてある「新しいまちづくりを担う人材を育成、高等教育機関の誘致」というのが、キーワードになってきて、それによって教育の向上なり、英語教育もそうだと思いますが、具体性が実際の生徒、保護者に見てくるという要素があるのかなと思っていれさせてもらいました。このへんを強調していただければと思います。

関口市長

ご覧のとおり高等教育機関の誘致というのは本当に、旧十日町市のポイントでもありますが、残念ながらいまだに実現していません。しかし、現在看護学校の誘致というものがあまして、看護という特別な分野ではありますが、数十年遡ってもそういうことはありませんでした。そんな中でかなり現実性が高くなってきたという風に思いますので、手始めに、さらにいろんな分野で実現していきたいです。そういう夢があって、十日町市の中で高校卒業した後でそれ以降の教育を受けることができる形を作っていければなと思います。

佐藤委員

松代高校が大変な位置にいるのかなと感じるのですが、川西中学校の卒業式に伺わせていただく機会がありました。そこでまだしっかりとした人数がそろっていらっしゃるのに、川西高校がさびしいお話が出ており、具体的に何か起こればいいなと松代のみなさんも考えていらっしゃるのかなと思います。

関口市長

新潟県の方針などを見ますと、こどもたちの数が減っていると現実の中で、今後十日町市エリアはまわりから見ると非常にうらやましいように見えるのではないかと思います。川西高校は残念なことになりましたが、それでも周りから見るとうらやましいところがあります。これを県の言うとおりにどんどん整理、統合していくばかりではいけないのでこれに対して特色のある教育をしていただきたい、もしくは新しい方向で新しい需要とありますか、新しい形態に変えていただけるための我々からの働きかけ、提案が大事ではないかと思えます。

庭野委員

それには十日町高校と総合高校と津南中等学校の校長先生をこういう会議に呼んでやる必要があると思います。十日町高校は4組制度を新学期で作るなど言ってますので、そういう考えを聞くなど、やはり高校教育を巻き込んだものを作ることが大事であります。

山口委員

再生会議に出させていただきましたが、十日町高校の校長先生も呼んでいただいて、現状を聞いていただいて、今度十日町高校にも働きかけていくことがとても大事ではないかと思えます。

関口市長

生徒が行きたいと思う雰囲気を増やしていくことはありがたいです。この会議はそういう方をお招きするようなことはできるのでしょうか。

富井教育次長

可能です。

関口市長

皆様からいろいろご意見をいただきまして、皆様の思いを改めてお聞かせいただきましてありがとうございます。そうした中でご提案というのを市長という立場でお聞きしているわけではありますが、これを当市の教育大綱ということにしてもよろしいでしょうか。(⇒一同承認) ありがとうございます。

関口市長

次に意見交換であります、十日町市の英語教育につきまして、資料を用意しておりますので、事務局から説明をお願いします。

島田学校教育課長

お願いします。資料をお手元に1～3までございますが、1、2については私のほうから、3については川崎指導管理主事からご説明いたします。まず資料1の教育計画の資料からご説明いたします。(省略)

川崎指導管理主事

資料3をご覧ください。総社市英語特区と左側に書いてある資料になります。(省略)

関口市長

蔵品教育長もご覧になった感想はございますか。

蔵品教育長

ALTの英語による質問に対して、子どもたちがスムーズに答えていました。幼稚園の4、5歳児のクラスを見学しましたが、本当に楽しみながら教育活動を行っている姿に感動しました。

また、小学2年生のクラスでは、先生が大きな身振り手振りジェスチャーを含めながら授業していたので、子どもたち自身も楽しんでいるところに感心いたしました。中学校2年生も見学しましたが、中学生になると恥じらいが出てきて小学生に比べて少し授業に対する反応が弱いかなと思いました。

品川区の資料を見てもそうですが、小学2年生までは英語を遊びながら身につけることで、英語に親しみを持って学んでいるのかなと、それが本当に大切な部分だと思いました。

(その後、意見交換が行われる。)

関口市長

いろいろなご意見を交わさせていただきました。そろそろ時間となるようですので、他に事務局で何かありますでしょうか。(⇒ありません。)

中村総務部長

それでは以上をもちまして、第2回十日町市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。